



もう12月となつてしまいました。社会的にはあまり良い年ではなかつたような気がします。

元旦早々から能登の地震がありました。政治的に国際的には問題が次々に起こり、日本の未来に落胆したものです。著名人も亡くなる人が続き、新型コロナウイルスも相変わらず社会を混乱させています。戦争も拡大し、日本も巻き込まれそうな様相にもなってきました。大地震や富士山の噴火が起こつたらどうなるのかと心配します。闇バイトには驚きました。SNSなどを信用して騙される人が、多方面に亘っています。良いニュースは大谷選手くらいでしょうか。

人間が軽くなつてきている気がします。簡単に利害に影響され、時流に翻弄されます。私どもは宗教者ですから、たとえ損であっても、合理的ではなくても、教えに反することや不誠実なことはしないという戒めが沁み込んでいます。親に申し訳ない、という意識は親が死んでも未だ保持しています。

現代社会では、信仰にはまる人は愚かに見えるようです。私は、大学生時代にクリスチャンになりました。学生運動は一年で止めました。麻雀やパチンコ、酒その他の遊びに自分が低俗になっていくように苦しみました。クリスマスに教会に導かれ、不思議な感じがしました。教会には、この世離れた真面目な人々がおり、私には奇異なものでした。牧師さんは、黒い着古した服を着ていて、にこやかに私を迎えてくれました。神がおられる、などと考えたこともなかつたのです。クリスチャンになり、この世離れたら、自分の将来の成功は無理だと思ひ、教会には近づきまいと決心しました。

そのような打算が罪であり、愚かなものであると突然示され、悔い改めて、平凡な信者の人生を覚悟して洗礼を受けました。50年近く前です。3年間の神学校を経て牧師になつてからも41年です。信者になつて本当に良かったと、妻と話し合っています。

「神は、実に、そのひとり子をお与えになつたほどに、世を愛された。それは御子を信じる者が、ひとりとして滅びることなく、永遠のいのちを持つためである。」(ヨハネ福音書3章16節)  
クリスマスには、教会においでください。

事務長 柏崎久雄

### 感染症で受診される方へ

発熱やくしゃみ・咳症状のある方、水ぼうそう等伝染性疾患の子どもの方は、入口、待合室・診察室、会計の流れが異なります。また、トイレ後のハンドソープによる手洗いに協力ください。

#### ★ 入口

正面入口横の中央通路のインターホンを押してください。

#### ★ 待合室・診察室

2階の、第二待合室です。

#### ★ 会計

疾患によっては、廊下会計となる場合があります。

### ヨーゼフのキャンペーン

A10000 レギュラー、ミセル  
A10000、セレノア・プラス、  
D3 プラス

12月1日(日)~1月10日(金)

聖書を読む会 12/10(火)13:40~

\* 年末は28日(土) 午前まで診療、年始は1月6日(月) からとなります。

\* 今月から、マイナ受付が推奨されておりますが、1年間は引き続き紙の保険証による受診も可能です。

\* インフルエンザの予防接種をしています。ホームページから予約してください。受付でもできますが、電話予約はできません。詳細は、ホームページか掲示をご覧ください。コロナワクチンは当院では接種しません。

\* 新型コロナウイルスの感染対策が緩和されましたが、これまで同様、院内に入る前にマスクを付け、入り口に置いてあるアルコール消毒薬で手を十分に殺菌してください。周りの人にご配慮ください。トイレは待合室毎に指定の所をご利用ください。

\* 当院では発熱外来を継続しています。午前は10時~11時、午後14時~15時10分までで電話予約が必要です。来院時は裏のインターホンでお知らせください。発熱があつてもこの予約を守らないで来院された場合には、診察をお断りすることもありますのでご注意ください。通常診察はこの時間も並行しておこないます。

\* 病児保育は、他院で受診しても、当院長の診察を必須条件として利用していただけます。新型コロナに感染している場合には利用することはできません。

\* 年内ヨーゼフからの発送最終受付日は12月26日(木)までとなります。年始は1月6日より順次開始いたします。

## < 感染症について >

感染症は感染する経路と、原因となる病原体で、先ず大まかに分けることができます。また、感染症予防法と言う法の下での分類もあります。

### 〔感染の経路〕

#### ① 不顕性感染（ふけんせいかんせん）

細菌やウイルスなどの病原体が身体の中に侵入して増えますが、病気の症状を示すことなく、知らない間に免疫ができてしまうような感染です。

#### ② 顕性感染（けんせいかんせん）

細菌やウイルスなどの病原体が身体の中に侵入して増え、特有の、病気の症状を示す感染です。免疫ができて治ってしまうこともあります、悪化して死亡することもあります。

#### ③ 日和見感染（ひよりみかんせん）

人間や動物の皮膚、粘膜（口の中や腸の表面など）の表面は、通常無害、病原性のない菌で覆（おお）われていますが（正常細菌叢）、身体の抵抗力が落ちるとこれらが悪さをしたり、また健康な時には存在しない菌、カビに感染したりすることもあります。

## 1. 病原体

病原体と呼ばれるものは、ウイルス、真正細菌、菌類、原生動物などの微生物のうち、宿主となる生物に病気を起こす性質を持ったものです。また微生物以外でも、回虫や線虫などのぜん虫など、患者の外観からは見えない体内寄生虫も、しばしば病原体と呼ばれます。場合によっては、ノミやシラミなどの体外寄生虫もこれに含めて扱うことがあります。また生物ではないですが、先に挙げたものと同じ特徴を持った、異常プリオンタンパク質も病原体として扱われます。

### A. 細菌

細菌とは、微生物の一種であり、細胞核を持たず、単一の細胞で構成される原核生物に属します。通常、細菌の大きさは真核生物（細胞核がある）の細胞に比べて小さいです。細菌には、乳酸菌飲料や納豆の製造に使われるような役に立つものもあれば、食中毒や病気などを引き起こし、人の健康に害を及ぼすものもあります。

細菌は生物ですが、ウイルスは生物とは言い切ることができず、生物と非生物の間中間的な存在です。ウイルスと細菌の違いの一つが、細胞かどうかです。細菌は単細胞の生物であり、細胞分裂により増殖します。基本的には、栄養素さえあれば、自身のみで増殖できます。一方、ウイルスは生物の細胞に感染する複合体で、細胞ではありません。ウイルスは生物の細胞に入り、その中で細胞の機能や構造に依存して増殖します。

病原菌は、大腸菌、サルモネラ菌、コレラ菌、百日咳菌、結核菌、黄色ブドウ球菌、レンサ球菌、ヘリコバクターピロリ（胃潰瘍の原因菌、近頃はある種の癌との関連も取りざたされる）などがあります。

### B. ウイルス

ウイルスはDNAやRNAを構成要素とする遺伝物質を持ち、感染・増殖を繰り返す中で遺伝情報が変化します。地球上には多種多様なウイルスが存在しますが、実はその多くはヒトや動物ではなく細菌に感染するウイルスです。細菌に感染するウイルスは、バクテリオファージと言います。ファージは、宿主となる細菌がいる場所ならどこにでも見つかるといって、皮膚や腸など私たちの身体にもたくさん存在しています。ヒトに感染するウイルスは400種以上見つかっています。

#### ● 呼吸器症状（咳、鼻水、喉の痛みなど、俗にいう風邪症状を含む）を引き起こすウイルスの例

- ◇ インフルエンザウイルス
- ◇ コロナウイルス
- ◇ ライノウイルス
- ◇ RSウイルス

#### ● 消化器症状（下痢、腹痛など）を引き起こすウイルスの例

- ◇ サポウイルス

- ◇ ロタウイルス
- 発疹を引き起こすウイルスの例
  - ◇ 麻疹ウイルス（麻疹）
  - ◇ 風疹ウイルス（風疹）
  - ◇ コクサッキーウイルス（手足口病）
  - ◇ 水痘帯状疱疹ウイルス（水ぼうそう（水痘））
  - ◇ ヒトヘルペスウイルス6型、ヒトヘルペスウイルス7型（突発性発疹）
- イボを引き起こすウイルス
  - ◇ ヒトパピローマウイルス
- がん・腫瘍を引き起こすウイルスの例
  - ◇ ヒトパピローマウイルス（子宮頸がん）
  - ◇ B型肝炎ウイルス（肝がん）
  - ◇ C型肝炎ウイルス（肝がん）
  - ◇ ヒトT細胞白血病ウイルス（成人T細胞白血病リンパ腫）
- 脳炎を引き起こすウイルスの例
  - ◇ 日本脳炎ウイルス（日本脳炎）
  - ◇ 単純ヘルペスウイルス（ヘルペス脳炎）
  - ◇ インフルエンザウイルス（インフルエンザ脳症・脳炎）
  - ◇ 麻疹ウイルス（亜急性硬化性全脳炎）
- エイズを引き起こすウイルス
  - ◇ ヒト免疫不全ウイルス
- おたふく風邪（流行性耳下腺炎）を引き起こすウイルス
  - ◇ ムンプスウイルス
- はやり目（流行性角結膜炎）を引き起こすウイルス
  - ◇ アデノウイルス

### C. 寄生虫、原虫、ダニなど

動物や植物に寄生して、寄生したもの（宿主）から栄養を横取りして成長し、子孫を残します。どれも動物（動物細胞）で非常に多く種類があり、色々な生活、生存の様式を持ちます。例えば、ダニは節足動物（せつそくどうぶつ）に分類され、多くは卵で増えます。

マラリア原虫（マラリアの原因）、クリプトスポリジウム（クリプトスポリジウム症の原因）、アニサキス（胃や腸の壁に刺さって成長する寄生虫）、サナダムシ（条虫と言う寄生虫に分類、腸の中で栄養を横取りして成長）、疥癬虫（かいせんちゅう；ヒゼンダニのことで疥癬という皮膚病の原因）などがあります。

## 2. 感染と免疫作用

### A. 感染経路

病原菌が身体の中に入る経路には、主に飛沫、接触、空気感染などがあります。息を吸うことで冷たい空気が肺に入るとウイルスは増えやすく、マスクをし、副鼻腔などで温まった空気が入ると増えにくいです。飛沫の大きさや飛距離は、湿度、気温、空気の流れにより変わります。病原菌は口や鼻から入るので、風邪をひくと喉が痛くなったり、鼻に違和感が生じます。

#### ● 飛沫感染

患者の咳、くしゃみ、会話などの時に発生する飛沫（細かい水滴、唾）を、鼻や口から吸い込むことによって起こる。飛沫の飛び散る範囲は、だいたい1~2m以内。

；インフルエンザウイルス、おたふく風邪・風疹（ふうしん）の原因ウイルス、溶連菌（のどがはれる猩紅熱（しょうこうねつ）の原因菌）など。

#### ● 接触感染

患者に直接接触れる、またはその患者が使用したものに触れることによって起こる。

；腸管出血性大腸菌（0-157などのこと）、MRSA（エムアールエスエー；主に病院内で感染する耐性菌＝特定の薬が効かなくなった菌）、ロタウイルス（下痢を起こすウイルス）など。

## ● 空気感染

患者の排出した飛沫核（ひまつかく）を鼻や口から吸い込むことによって起こる。飛沫核とは病原菌を含む飛沫が乾燥したもので、軽いので長時間漂う。

；結核菌、麻疹（はしか）の原因ウイルスなど。

## ● 動物や昆虫から感染

；オウムや鳥から感染するオウム病（クラミジアと言う細菌が原因）、キツネや犬から感染するエキノコックス症（エキノコックスと言う寄生虫（の卵）が原因）、ネコなどから感染するQ熱（リケッチアと言う細菌が原因）、ネズミから感染するペスト（ペスト菌という細菌が原因）など。

## ● 土などから傷口を通して感染

；破傷風（破傷風菌）

## ● 食べ物から感染

食中毒には菌そのものが悪さをする“感染型”と、菌の作る毒素が悪さをする“毒素型”があり、感染型の代表がサルモネラ、腸炎ビブリオで、毒素型の代表がボツリヌス、黄色ブドウ球菌、大腸菌O-157などです。

；食中毒（サルモネラ、赤痢菌、腸炎ビブリオ、黄色ブドウ球菌、大腸菌、ボツリヌスなどの細菌やSRSV（小型球形ウイルス）が原因）、コレラ（コレラ菌と言う細菌が原因）など。

## B. 冬のウイルス感染症

気温が低くなり乾燥した冬は粘膜が弱くなり、咳・喉の痛み・鼻づまり・発熱・くしゃみなどの症状が出る「かぜ症候群」が流行ります。悪化すると重症になるので、感染が疑われたら、直ぐに受診をしてください。

## ● インフルエンザ

急な発熱（他の症状よりも先に）、38度以上の発熱と悪寒、関節や筋肉が痛い、倦怠感や疲労感がある、寝込んでしまうほど辛い、頭痛がする、咳や鼻水の症状が次第に強くなる、などの症状が現れたら、48時間以内に受診しましょう。高齢者や幼児は重症化する恐れがあります。

## ● マイコプラズマ肺炎（2024年11月現在、非常に流行っています。）

マイコプラズマ肺炎とは「マイコプラズマ」と呼ばれる細菌の一種に感染することによって引き起こされる肺炎のことです。小児や若い世代に比較的好く見られる肺炎であり、発症者の約8割は14歳以下であるとされています。マイコプラズマは、飛沫感染と接触感染によって感染者から周囲の人に感染が広がっていきます。

## ● RSウイルス感染症

RSウイルス感染症は、0歳から1歳児に多い感染症です。多くの場合はかぜ様の症状で治まりますが、喘息様の咳が長引いたり、気管支炎や肺炎の原因にもなりやすく、またまれですが突然死の原因にもなると言われています。飛沫感染、接触感染が感染経路で、再感染を繰り返しながら次第に免疫が強くなるので、再感染、再々感染では軽い症状に留まるようになってきますが、初感染時にもっとも重症化しやすく、注意が必要です。

## ● 新型コロナウイルス感染症

新型コロナウイルス感染症は、新型コロナウイルスの感染から1～14日（当初は平均約5日、オミクロン株では平均約2日）の潜伏期間ののち、発熱、鼻水、喉の痛み、咳などの呼吸器症状や、嗅覚異常や味覚異常といった症状が現れます。また、感染者の一部は肺炎が悪化して酸素投与や集中治療室での人工呼吸管理が必要になることがあり、特に、高齢者や基礎疾患などがある人、一部の妊娠後期の人で重症化のリスクが高いといわれています。

新型コロナウイルスは一般的に“飛沫感染”と“接触感染”によって感染し、中でも飛沫感染が主な感染経路であると考えられています。マスクは有効です。

### ＜ 診療時間 ＞

月曜～金曜（午前8時30分～11時30分、午後2時～5時）

土曜（午前8時30分～11時30分、午後2時～4時30分）

休診日 木曜、日曜、祝日、年末年始

- ・各種健康保険取扱機関
- ・生活保護指定機関
- ・介護保険取扱機関
- ・特定疾患取扱機関
- ・結核予防法指定機関
- ・自立支援医療機関
- ・身体障害者認定医
- ・各種健康診断
- ・小中台小学校校医
- ・栄養医学(分子整合医学)



(携帯サイトへ)